

# リーシック教授による 心的外傷後ストレス症への 認知処理療法の基本研修

2025年3月15-16日(土-日) 10:00-17:00 [逐次通訳付き]

現地 [武蔵野大学 有明キャンパス] + オンラインのハイブリッド開催 [後日録画配信あり!]

参加費 JSTSS会員 33,000円 / 非会員 35,000円

定員 現地**180**名程度 / オンライン**300**名程度 [応募多数で枠拡大! 定員になり次第締切]

臨床心理士ポイント：第3群で申請できるポイントとして申請予定

## <ワークショップの概要>

認知処理療法 (CPT) 開発者であり、心的外傷後ストレス症 (PTSD) 研究の世界的な権威であるリーシック教授による講義、デモンストレーションビデオでの例示、ロールプレイ演習やエクササイズ、質疑応答を通した約6時間×2日間の特別集中研修となります。

国際的な診療ガイドラインでは、PTSDに対する第一選択の治療として、トラウマに焦点を当てた認知行動療法が推奨されています。本研修では、最新の研究や2023年に出版されたセルフヘルプ書籍『Getting Unstuck from PTSD』（日本語版は2025年5月出版予定）や、2024年に出版された『Cognitive Processing Therapy for PTSD, Second Edition: A Comprehensive Therapist Manual』（日本語版は出版検討中）の内容を基に、最新版のCPTについて、初めて実践する臨床家にもわかりやすく説明していきます。令和6年度の診療報酬改定においては、心的外傷的出来事後のPTSD関連症状に対する、公認心理師による心理支援加算が新設されました。PTSDやトラウマへの支援は我が国でも大きなニーズがあり、その実践の参考としていただけるかと思います。

## パトリシア A. リーシック名誉教授

ミズーリ大学セントルイス校においてトラウマ回復センターを創設し、寄付講座教授を務め、1988年に認知処理療法(CPT)を開発。10年間にわたり、国立PTSDセンターの女性健康科学部門長を務めた。国際トラウマティック・ストレス学会 (ISTSS)と米国行動認知療法学会(ABCT)の理事長を歴任。研究や教育訓練に関して多くの受賞歴があり、PTSD領域における卓越した科学業績に対してISTSSからロバートS. ローファー記念賞を、退役軍人局心理学者リーダー会からリーダーシップ賞を、ISTSSやABCTから生涯功労賞を、米国心理学会第56分科会（トラウマ心理学）から特別功労賞を授与されている。



主催：日本トラウマティック・ストレス学会

共催：武蔵野大学認知行動療法研究所 後援：国立精神・神経医療研究センター  
令和6年度 独立行政法人 日本学術振興会 外国人研究者招へい事業(短期)

# 研修で学べるスキル・コンピテンシー

1. PTSDの機能モデルを説明できるようになります。
2. 「同化」「調整」「過剰調整」の違いを理解し、示せるようになります。
3. PTSDを抱えるクライアントの「スタックポイント」を特定できるようになります。
4. CPTの概要と、患者が自身のトラウマに関する思考を考え直すスキルを養うための用紙の使い方を学びます。
5. PTSDに対するソクラテス式問答の様子をビデオを見て学びます。

## ★録画配信★

現地・オンラインのいずれの参加者の方も、後日配信の録画動画をご覧ください。  
後日、当日内容を振り返りたい方も安心してご参加いただけます。

【配信期間】（予定）

2025年3月24日（月）～5月15日（木）

## お申し込み＆お問い合わせ先

【申込方法】

下記URLまたは右記QRコードからお申し込みください。

<https://cpt2025.peatix.com>

※ 上記申込サイトは2024年11月8日夕方以降にオープン予定です。

※ 研修の詳細、注意事項等は上記申込サイトをご参照ください。

【申込期限】

2024年12月22日（日）23:55まで [定員に達し次第、締め切ります]

【JSTSS会員割引】

JSTSSのメーリングリストにて告知した割引コードを入力していただくことで、  
33,000円（2,000円割引）でご参加いただけます。

【お問い合わせ先】

申込サイト下部「主催者へ連絡」よりお問い合わせください。



会場（現地）：

武蔵野大学 有明キャンパス 4号館306教室

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2

交通アクセスは武蔵野大学の下記HPを参照してください：

<https://www.musashino-u.ac.jp/ariake/>

